

建築着工統計調査における「オーダーメイド集計」を行う際の仕様について

オーダーメイド集計を受託する際の仕様は、次のとおりです。オーダーメイド集計の利用を希望する方は、この仕様に基づき、「統計表作成仕様書」を作成の上、「統計の作成等の委託申出書」と併せて統計センターへ提出してください。

1．調査年次

平成 21 年 4 月から平成 23 年 3 月までのデータが利用可能です。

2．集計に使用するデータ

上記の調査年次の月次データが利用可能です。ただし、補正調査はオーダーメイド集計の対象外となります。

3．集計対象項目

上記の調査年次の分類一覧から表頭、表側、欄外に配置する項目を選定します（分類一覧は、統計センターのホームページの「オーダーメイド集計の利用」のページに掲載されています。）。

4．集計区分

月次、年度計の集計が可能です。

5．地域区分

月次については、都道府県、市区町村までが利用可能で、市区町村は各調査時の月末の時点のものとなります。年度計については、都道府県までが利用可能です。

6．結果の表章方法

積算値を実数で表章します。

表章項目は建築物棟数、住宅戸数、面積、工事費予定額です。建築物棟数は 1 棟単位、住宅戸数は 1 戸単位、面積は平方メートル単位、工事費予定額は万円単位で結果を表章します（分布のなかったセルは 0 で表章します。）。

なお、市区町村別の工事費予定額については、建築物棟数が 1 又は 2 の場合は秘匿し、「*」で表章します。

7．その他

住宅着工統計については、工事費予定額の集計は行いません。

集計対象項目の組合せの数（クロス数）は、最大で表頭 3 次元、表側 3 次元、欄外 3 次元となります。